



## ブラジル三菱東京UFJ銀行 DAILY MARKET REPORT

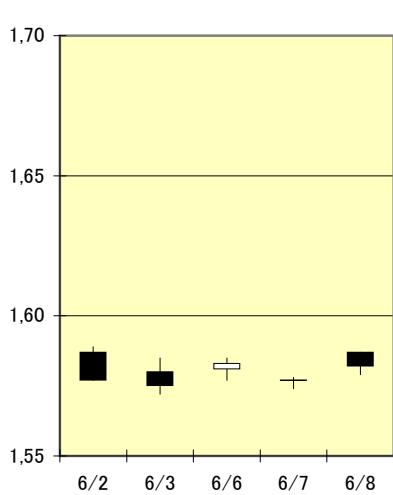
晴り

## 1. Market Rate

			6月2日	6月3日	6月6日	6月7日	6月8日	Net Chg
Forex	USD/REAL	Spot	1,5770	1,5750	1,5830	1,5770	1,5820	+0,0050
	USD/YEN	Spot	80,98	80,27	80,09	80,13	79,92	-0,21
	EURO/USD	Spot	1,4485	1,4637	1,4575	1,4686	1,4587	-0,0099
	REAL/YEN	Spot	51,35	50,97	50,59	50,81	50,52	-0,29
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	3,81	3,59	3,68	3,77	3,67	-0,10
		1Year(p.a.)	3,85	3,70	3,78	3,80	3,67	-0,13
	Real Interest	6MTH(p.a.)	12,31	12,32	12,35	12,37	12,37	u,c,
		1Year(p.a.)	12,47	12,48	12,50	12,50	12,50	u,c,
Stock	Bovespa		64,218,08	64,340,50	63,067,73	63,217,85	63,032,97	-184,88
Bond	EMBI+(bp)		171,00	173,00	174,00	175,00	178,00	+3,00
	Global 40		136,700	136,700	136,700	136,600	136,6000	u,c,

\* これらはインバウンド市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

直近5営業日U\$/R\$推移



U\$/R\$(2010/1/4～2011/6/8)



## 2. 市況、トピックス (As of jun-08)

## 【世界景気懸念根強く、レアル・株価伸び悩み】

本日の為替相場は U\$1=R\$1.5870 にてオープン。

当地早朝に発表されたユーロ圏 GDP は概ね予想通りの内容となった一方、ギリシャへの追加金融支援については不透明感が広まつたことからレアルは軟調な寄付き。次いで報じられた当地インフレ指数(IPC-S)は予想の範囲内となり相場への影響は限定的。株価については昨日のバーナンキ FRB 議長発言を受けて世界景気への懸念が燻る中、上値の重い展開となった。その後レアルは実需筋と見られる旺盛な買いを受けて 1.58 近辺へじりじりと上昇。午後に報じられた米地区連銀景況報告はやや楽観的な内容となったが、相場は反応薄。午後に入ると本日夜間に COPOM(金融政策決定会合)声明を控えて様子見ムードが強まり、レアル 1.58 を挟んでの揉み合いに終始。引けにかけてもレアルは方向感を欠いたまま売買交錯、結局 U\$1=R\$1.5820 にてクローズ。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。なお、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮ください。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承ください。